

JASON Tips

NMJT_0003

処理リストの編集方法

JASON
JEOL Analytical Software Network



● 処理方法の設定

データを開くと、そのデータに保存されている処理リストを読み取り、自動的に処理を実行したデータが表示されます。

処理方法を変更したい場合は、コンテキストツールボタンから[処理]のタブページを開き、次の手順で処理リストの編集を行うことができます。

- ① [リストを編集] ボタンから、処理テンプレートを編集 (処理項目の追加・削除) します。
- ② 各処理項目の右側に矢印ボタンがあり、これをクリックすると内容が展開されます。各項目ごとのパラメータの編集はここでいきます。
- ③ 各処理項目にはチェックボックスがあり、処理を実行するかどうかの選択ができます。
- ④ 設定が終わったら、右下の [適用] ボタンをクリックすることで変更箇所がデータに反映されます。

The screenshot illustrates the workflow for editing a processing list. In the main application window, the '処理' (Processing) tab is active. A red box highlights the 'リストを編集' (Edit List) button, labeled with ①. Another red box highlights the 'ウインドウ関数' (Window Function) item, which has a checkmark and a right-pointing arrow, labeled with ② and ③. A red box highlights the '適用' (Apply) button at the bottom right, labeled with ④. A red box highlights the 'コンテキストツール' (Context Tool) button on the left sidebar, which is used to access the '処理' tab. The '処理テンプレート (リスト) の編集' dialog box is open, showing instructions: '“処理項目”を“処理テンプレート”にドラッグして追加します。削除するには項目を選択してDeleteキーを使用します。' (Drag 'Processing Item' to 'Processing Template' to add. To delete, select the item and use the Delete key). The dialog also shows a list of items to be edited, including '逆フーリエ変換', '間接軸FTモード', 'Phase FID', 'ウインドウ関数', 'ゼロフリング', and 'フーリエ変換'. The 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are visible at the bottom of the dialog.



● ウィンドウ関数の設定

ウィンドウ関数の内容を展開すると、アポダイゼーションスライダーが表示されます(Basic mode)。スライダーを左右に動かして[適用]ボタンを押すことで、分解能またはS/Nのいずれかを強調したスペクトルが得られます。さらに、Basic modeからExpert modeに変更すると、Exponential関数の他に、Gauss, Sine, Trapezoid関数、もしくはそれらの複合をウィンドウ関数として設定できます。また、Expert modeではFID上の関数の形を視覚的に把握することができます。

初期設定(生データの設定)

ウィンドウ関数

Basic mode リセット

分解能 ← → 感度増

アポダイゼーションスライダー

分解能強調

ウィンドウ関数

Basic mode リセット

分解能 ■ 感度増

S/N強調

ウィンドウ関数

Basic mode リセット

分解能 ■ 感度増

ウィンドウ関数

Expert mode リセット

Estimated Linewidth: 1.17 Hz
Linewidth limit: 0.30 Hz

Exponential (指数関数)
線幅拡大因子: 0.150 Hz

Gauss (ガウス関数)

Sine

Trapezoid (台形関数)
0 % 0 %
80 % 100 %

ウィンドウ関数

Expert mode リセット

Estimated Linewidth: 1.17 Hz
Linewidth limit: 0.30 Hz

Exponential (指数関数)
線幅拡大因子: -0.270 Hz

Gauss (ガウス関数)
線幅拡大因子: 0.330 Hz
シフト量: 0.000000 s

Sine

Trapezoid (台形関数)

ウィンドウ関数

Expert mode リセット

Estimated Linewidth: 1.17 Hz
Linewidth limit: 0.30 Hz

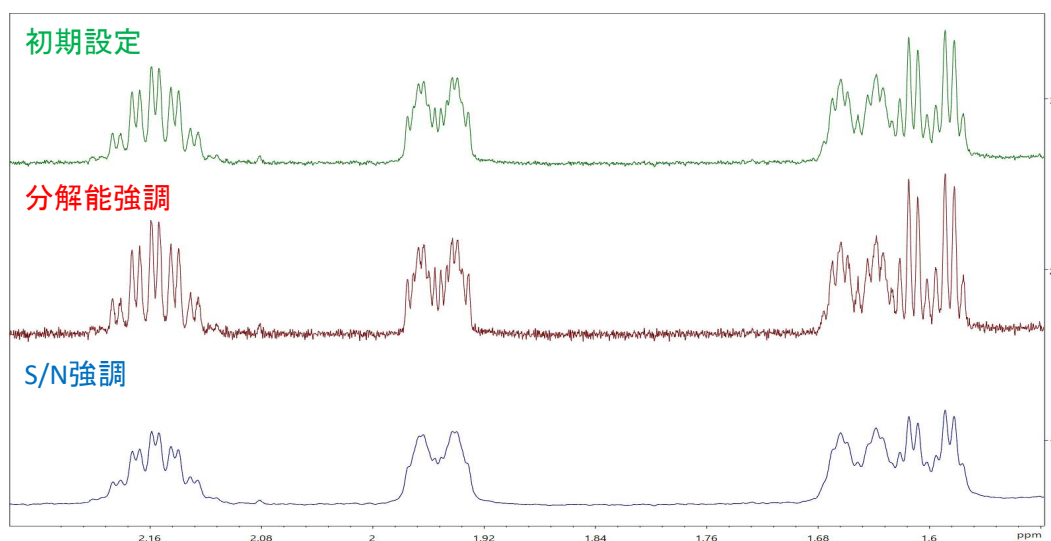
Exponential (指数関数)
線幅拡大因子: 1.170 Hz

Gauss (ガウス関数)

Sine

Trapezoid (台形関数)

上記の設定で分解能を強調した場合、S/Nを強調した場合はそれぞれ次のようなスペクトルが得られます。



※これらはJASON(JEOL Analytical Software Network) ver.1.3によるものです。